

江東区学校施設の将来ビジョン(案) (概要版)

みんなのかがやきを支える学校施設

みんなできいき学ぶ

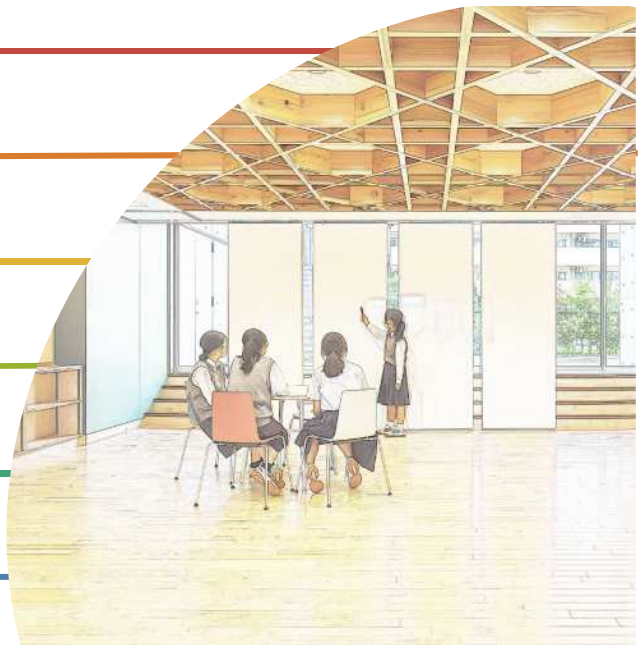
みんながすごしやすい

みんなで使う

みんなを守る

みんなにやさしい

みんなが安心できる



スポーツと人情が熱いまち
江東区



1. 背景と目的

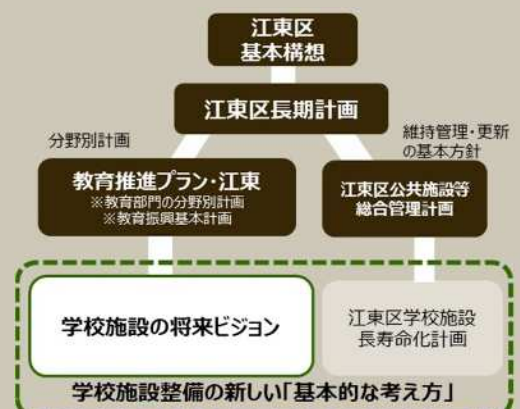
■ 背景と目的

「江東区立小中学校の改築・改修に関する基本的な考え方」（平成24年）策定から12年が経過し、見直しの必要があります。

社会、教育の変化に対応して、**学校施設に求められる機能や空間のありかた**について定め、今後の施設整備（改築・改修）の指針とします。

■ 計画の位置づけ

「教育推進プラン・江東」の目的をハード面から実現するための計画



2.学校施設の現状

■ 近年の学校施設整備

- ・改築、改修の計画的な推進
新築2校、改築6校、増築13校、大規模改修12校、バリアフリー化、トイレの洋式化など
- ・環境配慮
緑化、太陽光発電、木質化など
- ・防災、安全安心
非構造部材耐震化、災害用電源盤設置、冷暖房設置、雨水流出抑制など
- ・地域関連
きっずクラブ活動場所確保など

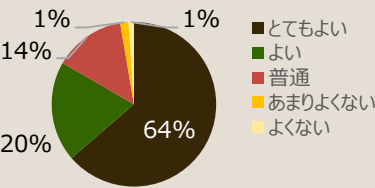
■ 環境の変化

- ①社会状況
・気候変動、災害の激甚化・人口増の対応
・SDG s・デジタル化など
- ②教育環境
・新たな学び、学びの多様化・ICT環境の変化
・学級編成標準の見直し（35人学級）
・学校の働き方改革 など
- ③人（利用者）
・学校支援の強化・地域連携の拡大
・こどもの多様化 など

■ 利用状況、意見

アンケート対象：平成24年以降の新築、改築校の児童・生徒1728人（回答率62%）
木質化について、特色空間について、自由意見など

●内装木質化の印象について



●利用率の高い空間・スペースについて

授業や休み時間の利用率が高い（60%以上）主な空間

- ・教室間のオープンスペース・教室と連続したテラス・大階段、昇降口前のオープンスペース・ピロティ など

4.目指す姿と基本方針

■ 目指す姿

みんなのかがやきを支える
学校施設

- ・こどもの充実した学校生活を支える学校施設
- ・こどもを支える先生や地域が安心して使える学校施設

■ 基本方針

目指す姿を実現するために学校施設に求められる役割として、
6つの視点＝基本方針を設定

（関連計画）

■ 国の動き

- ・新しい時代の学びを実現する
学校施設の在り方について など

■ 区の関連計画

- ・江東区長期計画
- ・教育推進プラン・江東
- ・江東区学校施設長寿命化計画
- ・江東区環境基本計画
- ・江東区みどりの基本計画
- ・江東区地域防災計画
- ・江東区放課後こどもプラン など

3.学校施設の課題と魅力

■ 課題

- ・教育環境の変化への対応
- ・気候変動に対応した室内環境改善や屋外活動の対策
- ・執務環境の改善、維持管理負担軽減
- ・防災機能の強化・防犯性の確保
- ・プライバシー配慮

■ 魅力

- ・改築・改修実績の蓄積
- ・豊富な緑地整備・環境配慮
- ・木質化による豊かな空間
- ・ワークショップによる計画プロセスや実現した特色ある空間

みんなできいき学ぶ学校

1.教育環境の充実

- ・多様な学習形態に対応
- ・充実した普通教室
- ・主体的な学びを支える空間
- ・充実した特別支援教育の場
- ・各学校や地域の特色を生かす



みんながすごしやすい学校

2.快適な施設環境確保

- ・施設のバリアフリー化
- ・衛生的で快適な施設環境
- ・学校の働き方改革に対する対応



みんなでする学校

3.地域の中の学校

- ・放課後支援、地域連携の場の確保
- ・施設開放の場の確保
- ・良好なまちづくりに資する外部空間



みんなを守る学校

4.防災機能の強化

- ・拠点避難所機能、水害対策
- ・非構造部材の耐震化
- ・まちの防災性向上への寄与



みんなにやさしい学校

5.自然環境への配慮

- ・省エネ性能に優れた施設整備
- ・質の高い魅力ある緑化
- ・脱炭素としての木材利用推進
- ・地域の生物多様性への配慮



みんなが安心できる学校

6.安全・安心への対応

- ・日常生活の安全確保
- ・防犯性、高いセキュリティ
- ・児童・生徒のプライバシー配慮



5.施設整備方針

目指す姿、基本方針を具体化するための施設整備方針を設定

■ 配置方針

- ・校舎集約化により敷地の効率化
- ・建物配置は法的制限のほか、周辺環境との関係、校庭の状況等をワークショップ等も活用して多様な意見を考慮したうえで決定
- ・校庭への緊急車両の動線に考慮
- ・見通しの悪い場所を作らない計画
- ・児童や生徒数の状況に応じて柔軟に対応出来るように将来の増築等も想定

■ 建物の整備方針

建物内のゾーニング（空間配置）

- ・水害時に使用する施設と設備は非浸水階に設置
 - ・将来の改修を想定した計画で施設使用制限の負担を軽減
 - ・施設開放は動線を区分し学校セキュリティ確保
 - ・きっずクラブは、放課後活動や動線に配慮した配置計画
 - ・特別支援学級は多様な活動と落ち着いた環境を両立
- 共通
- ・ユニバーサルデザインの考え方で誰もが利用しやすいづくり
 - ・太陽光発電など環境に配慮した機器の採用
 - ・断熱性向上やLED器具採用によって、省エネ推進
 - ・転落、衝突、挟まれなど事故を未然に防ぐ設計
 - ・日々の清掃やメンテナンスのしやすさ

■ 各空間の整備方針（13空間）

普通教室 ～多様な学びと居心地のよさ～

- ・ゆとりある教室の広さ
- ・活動に対応した収納
- ・多様な学習に活用できる側面、背面
- ・バルコニー等の設置
- ・木質化



特別教室 ～教科の魅力や活動を活かした場～

- ・活動に応じた広さ
- ・十分な収納
- ・多様な活動に対応する什器、設備
- ・外部空間との連携
- ・小、中に応じた整備



体育館 ～いつでも安心して使える大空間～

- ・非浸水階に設置
- ・備蓄倉庫と近接
- ・最大の活動場所としての設え、空間整備
- ・地域開放を考慮
- ・非常用発電機設置



職員室 ～働きやすい環境づくり～

- ・打合せ、作業スペースの確保
- ・見守りやすい配置
- ・情報セキュリティ確保
- ・コミュニケーションのしやすさ



※各空間の整備方針の扱い

設計時の考え方の指標です。学校の特色や課題、周辺環境の状況をふまえ個々の学校に応じた最適計画を目指していきます。

- ・多目的、少人数教室・図書室・トイレ
- ・給食室・昇降口・外部・プール・その他諸室

共用空間 ～学校全体が学びの場～

- ・識別しやすいサイン、色彩計画
- ・各学校の特色を生かしたデザイン
- ・安全で快適な空間



6. ビジョンの実現に向けて

■ 改築で実現すること、改修で実現すること

改修工事は既存の構造躯体をそのまま活用するため、配置や大きさの変更は難しいですが、単なる老朽化の原状回復とせず、各方針の実現を可能な限り目指していきます。



長寿命化改修の改修前後の様子

■ 工事中の教育環境確保

2か所ある仮校舎を活用するほか、状況によって敷地内の仮設や既存校舎を利用しながらの工事を検討し、工事中の教育環境を確保していきます。



仮校舎の様子（大島）

■ 多様な声の反映

改築ワークショップでの多様な声を反映し協働で学校整備を行います。整備後には、利用者への意見収集等を行い、今後の学校整備に生かしていきます。



改築ワークショップの様子



■ 教育とハードの連携

環境、防災、バリアフリーなど最新の校舎を「建築物も一つの教材」として活用できるよう意図伝達や情報案内を工夫していきます。

例）木材利用校舎を教材化した木に触れる学びや環境学習、太陽光発電の見える化等

■ コストの管理

建設コストや維持管理コストの増加が著しい状況の中、将来にわたって長く使用するため、施設の仕様について必要に応じて見直していきます。

■ 実現イメージ 小名木川小学校（工事中 令和9年完成予定）



1. 教育環境の充実

江東区学校施設の将来ビジョン（案）（概要版）

令和7年●月
江東区教育委員会事務局 学校施設課
〒135-8383 江東区東陽四丁目11-28
電話 03(3647)9111（代表）



詳しい内容はホームページよりご覧ください。